

れんごう中越地協

中越高齢協 魚沼高齢協

第788号2013.6.11
連合中越地域協議会
長岡市東蔵王2-2-68
TEL 0258-24-0515
FAX 0258-24-8930
発行人 矢島 良彦
定価 1部10円
購読料は会費に含まれる



第14回定期総会で運動方針が決まる

定期総会後には、懇親会で親睦を深める

中越地域高齢協は5月29日(水)13時30分から高齢者センター「けさじろ」で第14回定期総会を開催し、活動報告並びに運動方針が満場一致で承認された。

最初に議長に山田氏(林退会六日町支部)を選出し、続いて下田会長から主催者挨拶が



中越地域高齢協は5月29日(水)13時30分から高齢者センター「けさじろ」で第14回定期総会を開催し、活動報告並びに運動方針が満場一致で承認された。

「新しい地域医療に向けて、魚沼基幹病院の「新潟県議会議員」を講師として、関心の高い

釣りが絶好のコンプレックスを克服しよう!!

「ハリウッド女優のアンジェリーナ・ジョリー(アージュ)が予防的乳房切除手術を受けていたことを告白した話題になりましたね。あのブラッド・ピットのパートナーとしても有名で、慈善活動で数人の孤児を養子縁組していることで、一介の映画スターとして一線を画している感じがします。女優であるがゆえに勇氣ある決断ではあるものの、「私の決断が他の女性に役立てば」と思っ」と発言していること、乳癌リスクの回避措置として脚光を浴びるのは間違いのないと思えます。賛否はともかく日本人では中々できない行動だと思えます。一方、発言と言え、橋本徹大阪市長の従軍慰安婦問題と沖縄基地の「風俗業活用」の発言が世

界を騒がせました。首長が言うことではないことは誰もが認めることではあるところですが、世の中では色々理屈をまわして見ても、口に出したらいっぱいあります。今回の橋本さんの発言は、特に世の女性を敵に回してしまいました。中国の古事に「口は関わり、舌は兵なり、言を出して当たれば、返って自ら傷なう」にある「口は関わり、舌は兵なり」とある兵隊である。いったん関わり、舌は兵なり、言を出して自ら傷なう」ことを言っています。アンジェリーナの品格、橋本徹の人間の品性。比べようがありません。日本人として非常に恥ずかしい思いがいたしました。

サラリーマン川柳(妻の昼 亭主知らない 店ばかり) (早送り したい人ほど マイクもち) (面接を 受けに行ったら 妻もいた) (妻も子も メールで会話 俺抜きで)

サラリーマン川柳 (晴天がやけに空しい月曜日) (カーナビを買ったら旅行費消えちゃった) (胃を取るか仕事取るかと医者には聞く) (社員数昔は自慢今負担)

第23回参議院選挙候補者

かざま直樹はこんな人

(現①・46)
(民主党公認)



Q2 県議会議員から国会議員になりましたが、政治家になろうと思ったきっかけは?

中学生時代、通学電車待ちで入った駅前の書店で見つけた「小説吉田学校」を夢中で読みました。自分が成人する頃には日本を取り巻く国際環境は大きく変わっているだろうと。時代は国内諸制度の改革を求めるはず。ならば政治家としてその任に取り組むことこそ、男のロマンと思いました。実際に1990年に冷戦が終わり、日本の状況もガラリと変わりましたね。ただ時代が求める諸制度の改革はまだ道半ば。大いに取り組もうと思っています。

連合組織内比例代表候補予定者



かわいたかのり
* UAゼンセン
* 現①・48



神本 みえ子
* 日教組
* 現②・64



石上 としお
* 電機連合
* 新・50



浜野 よしみ
* 電力総連
* 新・51

連合小千谷支部だより

今回は4月20日(土)に行いました連合小千谷支部による「東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所」の視察につきまして報告致します。

当日は8名の参加となり、最初に柏崎刈羽発電所の概要と構造について説明を頂きその後、バスに乗り発電所構内へ見学となりました。

新たに安全対策を行った海拔約15mの高さが有る防潮堤や注水冷却施設等を見学し、最後に6号機の原子炉フロアやタービンフロアを視察しました。

東日本大震災の教訓と反省を踏まえた対策を行っており今回の視察では原子力発電の安全性についてより理解しました。



いまこそ、暮らしの底上げを!



「全世代支援型」の社会保障制度改革を先送りするな!

政府の動き

- 消費税引き上げと一体で行うはずの社会保障の改革議論がストップしています。
- 公共事業費の大幅増額一方で、生活保護基準の引き下げを提案。住民税、就学援助など様々な制度を減らし、広く低所得世帯の負担増・給付減につながる「貧困の連鎖」を招くことが懸念されます。

連合が求めていること

- 連合は、高齢者中心の社会保障から、「全世代支援型」の社会保障制度への抜本改革を求めています。
- 連合は、待機児童の解消や子育て世帯の経済的負担の軽減、様々な理由で生活に困窮し社会的に孤立するリスクの高い人々を支援する制度の構築を求めています。

ワーク・ライフ・バランスを後退させるな!

男女平等の現状

- 民主党政権では、「子どもは社会全体で育てる」との理念のもと、仕事と家庭の両立支援策の拡充などを進めてきました。
- 現政権では、「自己責任」が強調され、子育てや介護のために仕事を続けられなくなる人が増える懸念があります。

連合が求めていること

- 連合は、少子高齢社会に対応できるワーク・ライフ・バランス社会の実現を求めています。
 - 連合は、雇用における男女格差を解消し、男女が共に活躍できる環境整備を求めています。
- *6月は連合男女平等月間です。



労働者の最も強力な味方は、労働組合です。「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」には、労使の相互信頼に基づく集団的労使関係をより多くの職場に拡大していくことが不可欠です。連合は組合づくりに取り組んでいます。ご相談ください。

ともに働く職場に安心・安全を!

パート・有期・関連会社の仲間にも労働組合の輪を広げよう!

連合 日本労働組合総連合会

- ホームページ URL: <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>
- フェイスブック: <http://www.facebook.com/jtuc.rengo>
- ツイッター: <http://m.jtuc-rengo.or.jp/>
- フェイスブック: <https://twitter.com/union1>



(20-34)

STOP THE 格差社会!

暮らしの底上げ実現!

暮らしの底上げを!



連合は、「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」キャンペーンを通じ、「働くことを軸とする安心社会」の実現に取り組んでいます。

- 労働者保護を後退させる労働規制緩和に反対しよう!
- 最低賃金の引き上げやセーフティネットの整備などを通じ社会の底上げをはかろう!
- 「全世代支援型」の社会保障制度をつくらう!
- 働く仲間の連帯の輪をひろげよう!

連合 日本労働組合総連合会